

プログラム

Duo	「ブラジル風バッハ第5番」よりアリア チェロとギターのためのソナタ 7つのスペイン民謡	ヴィラ=ロボス ニヤタリ ファリャ
ギター & ピアノ	美しき夕暮れ	ドビュッシー
Solo チェロ	無伴奏チェロ組曲第1番より	バッハ
ギター	大聖堂	バリオス
ピアノ	亡き王女のためのパヴァーヌ	ラヴェル
Trio	ニュー・シネマ・パラダイス	モリコーネ 他

プロフィール



石川 祐支 Yuji Ishikawa (チェロ)

東京音楽大学を首席で卒業。これまでに故松下修也、林良一、故星野明道、吉田顕、河野文昭、堀了介の各氏に師事。第8回日本室内楽コンクールで第2位、第68回日本音楽コンクールで第1位を獲得、併せて黒柳賞も受賞。同年岩崎淑氏主催の沖縄国際音楽祭1999より奨学金を得てイタリアのキジアナ音楽院にてマリオ・ブルネロ氏に学ぶ。2002年5月第8回大垣音楽祭において最優秀新人賞を受賞。これまで国内主要なオーケストラとコンチェルトを協演し、いずれも好評を博している。2003年～2005年まで東京交響楽団首席チェリスト、2005年からは札幌交響楽団首席チェリストに就任。2010年には、北海道銀行より「道銀芸術文化奨励賞」を受賞。2014年にはR・エリシュカ氏指揮、札幌交響楽団と共演したドヴォルジャークのチェロ協奏曲のCDがリリース、2016年にはピアニストの大平由美子氏とデュオでブラームスのチェロソナタ全2曲がリリースされる。現在は東京音楽大学指揮科の特別アドバイザー、北海道教育大学芸術学科と札幌大谷大学芸術学部音楽学科にて非常勤講師。



宮下 祥子 Sachiko Miyashita (クラシックギター)

7歳よりギターを始め、渋谷忠三、福田進一、P.シュタイドルに師事、音楽理論を木村雅信、蛭子元に師事。1991年クラシカルギターコンクール優勝。2002年アンドレス・セゴビア国際ギターコンクール(スペイン)で第2位入賞。2003年キジアナ音楽院の夏期セミナーで最優秀ディプロマを授与される。トリノ国際ギターフェスティバル、タイ・アジア国際ギターフェスティバル、デジョン国際ギターフェスティバル、ウラジオストック国際ギターフェスティバル、セゴビア国際ギターフェスティバルなど海外フェスティバルに多数出演。井上ひさし氏・朗読劇「少年口伝隊一九四五」の音楽を井上氏の指名により初演より演奏、新国立劇場において再演が続いている。2011年ライラックコンサートに於いて札幌交響楽団とアランフェス協奏曲を共演。発売アルバムが多く「レコード芸術」誌において特選盤、優秀録音盤に選ばれ好評を得る。北海道大学卒業。道銀芸術文化奨励賞を受賞。(公社)日本ギター連盟理事。



大平由美子 Yumiko Ohira (ピアノ)

札幌出身、藤女子中学校卒。東京芸術大学附属高校を経て同大ピアノ科卒業後、渡独。ベルリン芸術大学に入学、同大ピアノ科卒業。1989年より20年間、ベルリン芸術大学・舞台演奏科の講師を勤める。ピアノをE.アンドレアス、室内楽をW.ベトヒャー、T.ブランディス、G.ザイフェルトの各氏に師事。さらにマスター・クラスでピアノをG.シェベック、M.クルチオの各氏に、またE.シュヴァルツコプ、D.フィッシャー=ディースカウ各氏の許で、主にシューベルト、シューマン、ブラームス、ヴォルフ、R.シュトラウス等のドイツ・リート解釈と伴奏法を学ぶ。ベルリンを拠点にヨーロッパ各地でソロ、室内楽、リート伴奏など多岐に渡る演奏活動。その間、一時帰国して日フィル、札幌との協演、リサイタル、室内楽などの演奏活動。2008年帰国。現在は札幌在住、札幌を拠点に幅広い演奏活動を行いながら近年はyoutubeなどによる配信も積極的に行っている。2022年、札幌芸術賞を受賞。